

2016自治労北海道本部青年部役員セミナー

ボイス

発行責任者
 上川町南町
 自治労上川町
 職員労働組合
 青年部 塚田哲史

11月17、18日の2日間に渡り、2016自治労北海道本部青年部役員セミナーが札幌市で開催され、上川町職員労働組合青年部からは3名が参加しました。和田道本部副執行委員長のあいさつでは、組合活動として労働条件改善を訴えることは、余裕を持って仕事をする事で住民サービスの向上につながるためだという話があり組合活動の意義を再確認することができました。



その後のグループ討論では、各単組の職場状況や組合活動の現状について話し合いが行われ、多くの課題や仲間の思いの共有を図りました。セミナー内でもあった、組合員としてどんなことをしていくべきか、等基本的な内容が多く、すぐ今後の青年部活動に反映できることも多く実りある集会参加となりました。



青年女性学習会 11-23 幌延デー全道集会



11月23日、天塩町での青年女性学習会後、幌延町で北海道集会が開催され、上川町職員労働組合青年部から10名が参加しました。

青年女性学習会の公演では、自治労福島県本部青年部副部長の佐々木佑さんが「原発事故から4年が経過した福島の現状」と題して4年以上経過した今も復興とは程遠い現状や、そこで働く職員の現状について報告がありました。

北海道集会では、北海道への核持ち込みは許さない！をテーマにした講演の後に寒空の下、シユプレヒコール、デモ行進と続きました。

【感想】
 印象に残っていることは、スクラムを組んだことです。実際に一つになることで団結の意識が強まった気がしました。(Y・K)

講義で一番印象的だった内容は、震災の被害者同士で補助の格差が原因で交友関係に亀裂が走ってしまうというものでした。震災が奪ったのは家や命だけではないということを感じました。(M・S)

幌延の深地層研は前から聞いたことがあったもののデモに参加したのは初めてでした。「寒かったけどみんな熱かった」特に街宣車から流れる歌が特に印象的でした。(Y・H)

講義、デモ行進を通じて、改めて核が取り巻く現状について認識を深めるとともに、実際に活動に参加することで自分たちひとり一人が声を上げることの重要性を肌で感じる事ができ貴重な経験となりました。大変寒い中、お疲れ様でした。

青年部員紹介 ②

ボイス1号に引き続き、2016年度ボイスでは、青年部活動以外にも“青年部員個人”についてもお知っていただく機会を設けたい！と企画し、毎月部員紹介を掲載していきます！



平松 悠揮 副部長

どうも皆様こんにちは。まだまだまいお話したことのない方もおられるでしょうが、後場1年目にして青年部最終年。そして副部長という大役を任せられた平松です。若さって重要ですね。♪ずっと探していた理想の自分ってもうちょっとかっこよかったけど～◎♪スガシカオに共感する今日この頃。若い人がチャレンジできる環境、学べる環境を皆で作っていただけたいと思います。「カッコつけられる大人」にみんななりたいですね。



小笠原 聡規 書記次長

新入部員の小笠原です。市町村の運営に関わる仕事をしたいと思いついて上川町に勤めて8ヶ月が過ぎました。先輩方のご指導のおかげで、職場、仕事にも少しずつ慣れてきたと感じます。組合活動も集会等の参加、青年部書記次長としての役割を通して色々なことを学ばせていただいています。まだまだ分からないことも多く、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、これからもよろしくお願ひします。